

一般質問

・電気料金高騰による市政運営及び  
市民・企業に与える影響について



植田浩之

問

昨今、様々なものに対する物価の上昇は驚くべき状況です。中でも特に電気料金の値上げは著しく、一般家庭で使用する従量電灯料金の推移ですが令和3年2月と令和4年10月を比較しますと151%も上昇していますし、業務用機器向けの電力プランである低圧電力料金においても前年比115〜120%台で推移しています。さらに高圧料金は、驚くことに200%の値上がりとなつていきます。このような状況において、市政運営、市民生活、市内企業経営にも多大な影響を与えています。令和4年度の当市の電気料金も、1億円を超える大幅な補正予算を組まざるを得ない状況です。家庭における電気料金も、以前の2倍程度になっていきますし、企業においても高圧・特別高圧電気料金も低圧電力以上に値上がりしています。今後もさらに値上がりが予想される中、生活困窮者、影響の大きい市内立地企業への補助及び対策等、市としての考えは

答

電気料金の高騰は、市民生活や経済活動、市政運営に大きな影響を与えています。本市では、これまで一般住宅における太陽光発電設備や蓄電池などの導入及び省エネ家電製品の購入に対する補助金交付を行い、再生可能エネルギーや省エネ機器の導入を促進してきました。

令和5年度より新たな取り組みとしまして、これまでの一般住宅向け再生可能エネルギー機器導入に対する補助金交付に加え、中小企業を対象に省エネセミナーを開催し、省エネに対する意識向上を図るとともに、省エネ診断や省エネ機器導入に対する補助金交付制度を創設することで、省エネ対策の促進を図ってまいります。また、市役所周辺エリアにおける公共施設の再生可能エネルギーを最大限活用するため、公共施設間の電力相互融通や、一括受電方式への切り替えなど、電力のスマート利用を積極的に進めてまいります。

一般質問

・公道の側溝の蓋について



名波和寛

問

公道の道路整備は、国や地方公共団体が行うこととなります。私の地区の話になります。私の地区の建設課に側溝の蓋の支給をお願いしたところ「側溝の蓋は支給するが、施工は町内会で」とお願いされたようです。もちろん、そのような制度があり、そのルールにのっとった対応だと思えますが、一言に側溝の蓋といつても、一板のサイズが幅60cm×奥行き40cm、厚み10cm、重量約30kg以上のコンクリート製品です。とても素人が施工するには、難しいものだと思います。地域住民が行う愛護活動の仕組みや方法などについて、市長の考えを伺う

答

市道の維持管理や改修などにつきまして、建設課の日常業務において様々な制度や手段によって行われているところであり、それらの制度、手段の中には、地域住民の方々が側溝の蓋の設置や、道路における除草などをする方

法として、町内会からの要望による原材料支給や、道路・河川等愛護事業費補助金などの制度がございます。これらは、行政だけでなく地域住民も一体となって協働で行うものとして、地域の方々にも主体的にまちづくりに関わっていくことにもつながっており、総合計画の中で、基本目標の一つに掲げている「市民協働による居心地のよいまち」の理念とも一致しております。一方、地域住民の高齢化や地域コミュニティの希薄化などの問題については、道路の管理に限らず、あらゆる面において、重要な課題であると認識しております。

